

質問票

1. あなたご自身について伺います。(回答者属性)

問1: あなたの性別をお聞かせください。

男 女

問2: あなたの年齢を教えてください。

20歳未満、20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳、45～49歳、
50～54歳、55～59歳、60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上

問3: 現在お住まいの都道府県を教えてください。

問4: 現在同居されている家族構成を教えてください。

単身、配偶者、子供(小学生未満)、子供(小学生)、子供(中学生)、子供(高校生)、
子供(大学生以上)、両親、祖父母、孫、その他

問5: あなたの外出頻度を教えてください。

毎日、週3～5日、週1～2日、週1日未満

問6: あなたが日ごろ、もっとも多く利用している交通機関を教えてください。

徒歩・自転車、自家用車、バス、電車、タクシー、その他、外出しない

問7: 問6で回答した内容はどのような目的で利用しているか教えてください。

あてはまるものについていくつでも

通勤、通学、通院、買い物、余暇活動や趣味活動、その他

2. バリアフリー・ユニバーサルデザインについて伺います

問8: あなたが日常生活や社会生活を送るうえで、バリアフリーやユニバーサルデザイン(以下「バリアフリー化」といいます。)が進んでいないことで、不便や不安などの何らかのバリアを感じていますか。教えてください。

バリアを感じる事が多い、バリアを感じる事がときどきある、
バリアを感じる事は少ない、バリアを感じることはない、どちらともいえない

バリアフリーとは、障害者や高齢者、妊産婦など身体機能等に関して何らかのハンデを持つ人が生活を送る上での障壁(バリア)となるものを除去するという考え方です。
ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、障害の有無にかかわらず、人々が製品や施設、生活環境等を利用しやすいよう、はじめからデザインする考え方です。段差が生じないようフロアを設計すること、また、最初からスロープやエレベーターを設置することはその一例です。

3. 生活や社会での「バリアフリー化」について伺います。

問9: あなたは日常生活や社会生活の全般について、5年ほど前と比べて、どの程度バリアフリー化が進んだと思いますか。教えてください。

十分進んだ、まあまあ進んだ、あまり進んでいない、ほとんど進んでいない、
どちらともいえない

問10: 次に、ア～エのそれぞれの施設ごとに、5年ほど前と比べて、どの程度バリアフリー化が進んだと思いますか。教えてください。

ア 建築物について、イ 公共交通機関について、ウ まちづくりについて、
エ 情報利用や各種製品について

十分進んだ、 まあまあ進んだ、 あまり進んでいない、 ほとんど進んでいない、
どちらともいえない

問11：次に、(1)～(11)のそれぞれの建築物ごとに、5年ほど前と比べて、どの程度バリアフリー化が進んだと思いますか。教えてください。

(1)官公庁施設では、(2)オフィスビル・事務所等では、(3)病院、診療所等医療施設では、(4)老人ホーム等福祉施設では、(5)図書館では、(6)博物館、美術館では、(7)ホテル、旅館等宿泊施設では、(8)映画館、劇場等では、(9)百貨店、スーパーマーケット等商業施設では、(10)体育館、ポーリング場等運動・遊戯施設では、(11)飲食店、料理店等では

十分進んだ、 まあまあ進んだ、 あまり進んでいない、 ほとんど進んでいない、
どちらともいえない

新設・改良を行う官公庁施設、公共施設、教育施設等では、バリアフリー法に基づき、出入口等の幅員の確保、スロープ、エレベーター、障害者用のトイレの整備等のバリアフリー化基準（移動等円滑化基準）への適合が義務づけられており、既存の施設等についてもバリアフリー化に努めることとされています。

問12：次に、(1)～(8)のそれぞれの公共交通機関ごとに、5年ほど前と比べて、どの程度バリアフリー化が進んだと思いますか。教えてください。

(1)鉄軌道駅では、(2)鉄軌道車両では、(3)バスターミナルでは、(4)バスでは、(5)航空旅客ターミナルでは、(6)航空機では、(7)旅客船ターミナルでは、(8)旅客船では

十分進んだ、 まあまあ進んだ、 あまり進んでいない、 ほとんど進んでいない、
どちらともいえない

公共交通機関では、旅客施設の新設・改良時や車両等の新規導入に際し、バリアフリー法に基づき、エレベーター、障害者用トイレ等の設置等や車いすスペースの確保等のバリアフリー化が義務づけられており、既存の施設等についてもバリアフリー化に努めることとされています。

問13：まちづくりについて、(1)～(5)のそれぞれに、5年ほど前と比べて、どの程度バリアフリー化が進んだと思いますか。教えてください。

(1)歩道等歩行空間では、(2)公衆トイレでは、(3)商店街では、(4)都市公園では、(5)水辺、海辺の空間（河川敷・海岸等）では

十分進んだ、 まあまあ進んだ、 あまり進んでいない、 ほとんど進んでいない、
どちらともいえない

問14：情報・製品について、(1)～(5)の5年ほど前と比べて、どの程度バリアフリー化が進んだと思いますか。教えてください。

(1)テレビ等における字幕放送、解説放送では、(2)ホームページ等のインターネット情報（わかりやすい構成、音声情報等）では、(3)新聞・書籍・雑誌（わかりやすい文字や図の形・色・紙面構成等）では、(4)パソコン、スマートフォン、携帯電話、FAX等の情報・通信機器（形状、操作性）では、(5)テレビ、冷蔵庫等の家電製品（形状、操作性）では、(6)日用雑貨・家具等の生活用品では、(7)情報通信機器の取扱説明書（理解のしやすさ）では、(8)家電製品等の取扱説明書（理解のしやすさ）では

十分進んだ、 まあまあ進んだ、 あまり進んでいない、 ほとんど進んでいない、
どちらともいえない

4. 今後重点的にバリアフリー化していくことについて伺います。

問15：建築物について、あなたは今後、特にどの施設を重点的にバリアフリー化していくことが必要だと思いますか。1～11の中からあてはまるものを3つまで教えてください。

1 官公庁施設、2 オフィスビル、事務所等 3 病院、診療所等医療施設 4 老人ホーム等福祉施設 5 図書館 6 博物館、美術館 7 ホテル、旅館等宿泊施設 8 映画館、劇場等レジャー施設 9 百貨店、スーパーマーケット等商業施設 10 体育館、ボーリング場等運動・遊戯施設等 11 飲食店、料理店等

問16：公共交通機関について、あなたは今後、特にどの施設を重点的にバリアフリー化していくことが必要だと思いますか。1～8の中からあてはまるものを3つまで教えてください。

1 鉄軌道駅 2 鉄軌道車両 3 バスターミナル 4 バス 5 航空旅客ターミナル 6 航空機 7 旅客船ターミナル 8 旅客船

問17：まちづくりについて、あなたは今後、特にどの施設を重点的にバリアフリー化していくことが必要だと思いますか。1～5の中からあてはまるものを2つまで教えてください。

1 歩道等歩行空間 2 公衆トイレ 3 商店街 4 都市公園等 5 水辺・海辺の空間

問18：情報・製品について、あなたは今後、特にどの事項を重点的にバリアフリー化していくことが必要だと思いますか。1～8の中からあてはまるものを3つまで教えてください。

1 テレビ等における字幕放送、解説放送 2 ホームページ等のインターネット情報（わかりやすい構成、音声情報等） 3 新聞・書籍・雑誌（わかりやすい文字や図の形・色・紙面構成等） 4 パソコン、スマートフォン、携帯電話、FAX等の情報・通信機器（形状、操作性） 5 テレビ、冷蔵庫等の家電製品（形状、操作性） 6 日用雑貨・家具等の生活用品 7 情報通信機器の取扱説明書（理解しやすさ） 8 家電製品等の取扱説明書（理解しやすさ）

5. 心のバリアフリーについて教えてください。

バリアフリー社会を実現するためには、ハード面の取組だけではなく、国民一人一人が高齢者、障害者、子供連れ等（以下「障害者等」という。）の困難を自ら問題として認識し、自然に快くサポートする、いわゆる「心のバリアフリー」を実現することが必要です。

問19：あなたは、外出の際、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚障害を持っている方が駅で迷っていたりした場合、声をかけて手助けをしていますか。1～5の中からあてはまるものを1つ教えてください。

1 つねに手助けをしている 2 できるだけ手助けをしている 3 手助けをしたいと思っているが、行動には移していない 4 手助けをしたいとは思わない 5 どちらともいえない

問20：問19で1、2と回答した方に伺います。今後も、手助けをしたいと思いませんか。

1～5の中からあてはまるものを1つ教えてください。

1 そう思う 2 まあまあそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない 5 どちらともいえない

問21：問19で3、4、5と回答した方に伺います。今後、手助けをしたいと思えますか。

1～5の中からあてはまるものを1つ教えてください。

1 そう思う 2 まあまあそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない 5 どちらともいえない 問22：あなたは、「心のバリアフリー」を実現していくために、これからどのようなことが必要だと思えますか。1～6の中からあてはまるものをいくつでも教えてください。

- 1 障害者等への理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと
- 2 障害者等を含めたさまざまな人が交流する機会がもっとふえること
- 3 障害者等を手助けするボランティア等を養成すること
- 4 障害者等へのサポートを実現するため、役立つ具体的な情報（介助方法等）
- 5 学校教育等でバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと
- 6 わからない

6. 国や地方公共団体に期待することを教えてください。

問23：日常生活や社会生活で利用する施設について、今後もバリアフリー化を進めていくために、あなたは国や地方公共団体に対して何を期待しますか。1～5の中からあてはまるものをいくつでも教えてください。

1 法令、条例による義務づけ 2 関係者への指導 3 広報・啓発活動 4 民間の自主的な取組への財政的な支援 5 民間の自主的な取組へのソフト的支援（ノウハウの提供等）